

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

2019/6/20

りそなホールディングス 市場企画部



○概況

- ◆ 政策金利は据え置かれたものの、今後の利下げの可能性について明確に示唆する形となった。
- ◆ パウエルFRB議長は「今会合で利下げを決定するほどの材料はない」としたが、FOMCメンバーは年内の利下げについて17人中8人が支持。市場はハト派的と受け止め、ドル円、米金利は低下。
- ✓ FRBは6/18-6/19に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、**政策金利を据え置いた。**
- ✓ 声明文では、「**辛抱強く**」との表現が削除され、「**不確実性の高まり**」に対して「**適切に行動**」するとの文言が加わり、**今後の利下げの可能性について明確に示唆した。**
- ✓ FOMC参加者によるFFレート見通し（ドットチャート）では、**年内の利下げについて委員17名のうち7名が0.5%、1名が0.25%の利下げを支持。**但し中央値では年内の利下げはなしとなっており、**委員の間でまだ見方が分かれています。**長期見通しについても中央値が2.75%から2.5%に低下した。
- ✓ 同時に公表されたFOMC参加者の米経済見通しでは、**2020年の成長率を引き上げ、インフレ率については、2019年と2020年を下方修正した。**
- ✓ パウエルFRB議長は記者会見で現状では労働市場及び消費活動は堅調なことから「**今回の会合で利下げを決定するほどの材料はない**」とし、**今後、实体经济に一段と下押し圧力がかかるかを注視する**とした。一方、明確な利下げ時期については言及せず、利下げ幅についてもまだ議論していないとした。
- ✓ 今回のFOMCを受け市場は**FRBが想定よりハト派的**と受け止められ、ドル円は低下し、米金利も低下した。

【FOMC参加者の見通し（6月時点）】

	FRB見通し（中央値）			
	2019	2020	2021	長期
実質GDP	2.1	2.0↑	1.8	1.9
3月時点	2.1	1.9	1.8	1.9
失業率	3.6↓	3.7↓	3.8↓	4.2↓
3月時点	3.7	3.8	3.9	4.3
PCEインフレ率	1.5↓	1.9↓	2.0	2.0
3月時点	1.8	2.0	2.0	2.0

【FFレート見通し内訳—FOMC参加者の人数】

	2019		2020		2021		Longer run	
	3月	6月	3月	6月	3月	6月	3月	6月
3.750								
3.625					1			
3.500							1	
3.375			1		1		1	2
3.250								
3.125			2	1	1	1	4	2
3.000								
2.875	2		3		4	1	4	2
2.750							4	3
2.625	4	1	4	2	5	3		
2.500							6	8
2.375	11	8	7	5	5	5		1
2.250								
2.125		1		2		2		
2.000								
1.875		7		7		5		
1.750								
1.625								
平均値	2.493	2.169	2.669	2.213	2.743	2.316	2.797	2.695
中央値	2.375	2.375	2.625	2.125	2.625	2.375	2.750	2.500

 今回FOMCで提示された中央値の利上げベース
 中央値
 【出所】FRB

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。